平成30年度 AI/IoT技術を活用した ロボット開発人材育成実践セミナー







埼玉県マスコット「コバトン」

注果発表:

埼玉大学先端産業国際ラボラトリーでは、「AI/IoT技術を活用したロボット開 発人材育成実践セミナー | を行っています。

本セミナーは、埼玉県の「先端産業創造プロジェクト」の一環として行われ、 主に埼玉県内の中小企業の技術者・研究者を対象に、ロボットの設計・開発に必 要となる基礎知識の講義・演習・実習を行うとともに、設計・製作の総合実習を通 して、先端産業分野を担える人材の育成を目指します。

◆日時 2019年2月28日(木) 15:00~17:30

◆場所 埼玉大学研究機構棟7階 大会議室

ロボット開発人材育成実践セミナーのこれまでの取り組み

埼玉大学 先端産業国際ラボラトリー所長 綿貫 啓一

Aグループ ナス収穫ロボット「NASTOL」

担い手不足が進む農業の現場に自動化を。カメラ画像を元にAIでナスの形状を認識することで、自動でへ 夕の部分を切断しナスを落として収穫するロボットを目指します。

近藤 訓・髙橋 貴之・深田 降之・星 実里

Bグループ スマートジャッジ分ける君

普通のロボットアームに人間の手のような感覚を持たせたいという思いで、感覚を持つアームを製作しま す。

岡本 高・河谷 公則・原田 賢治・横尾 豊

Cグループ 洗濯物取り込みロボット「iーせんた君」

洗濯物を取り込むロボットになります。天気を見て、洗濯物を取り込む判断をします。洗濯物の種類によって 仕分けを行います。

根本 博之・前 隆志・物集 高彦・渡邉 慶祐

Dグループ お手伝いロボット

アマゾンエコーの音声認識を使い、カメラ画像から物を認識して、持って来て欲しいものをルンバに運ば せます。

王 寧・ 佐藤 博之・佐藤 亮太・柳瀬 治

Eグループ No Danger!(AI危険物発見機)

先の尖っている危険なものが床に落ちていないか調査し、あった場合に警告するロボットです。 1. 金属且つ尖っている(鋭利な)物をAIで検知

2. 落とし物の画像情報をディスプレイ表示

遠藤 幸男・大西 貴・小田 雅絵・須藤 英理

埼玉大学

先端産業国際ラボラトリー所長 綿貫 啓一

株式会社ソーケンメディカル

代表取締役 石渡 弘美氏

一般社団法人首都圏産業活性化協会

シニア産学官連携コーディネーター 八木 誠氏

他

平成30年度 AI/IoT技術を活用した ロボット開発人材育成実践セミナー

成果発表会

FAX.048-858-9419 E-mail: robo@gr.saitama-u.ac.jp

参加申込書

準備の都合上 2月21日(木)までに お申込みください。

問合せ先

申込先

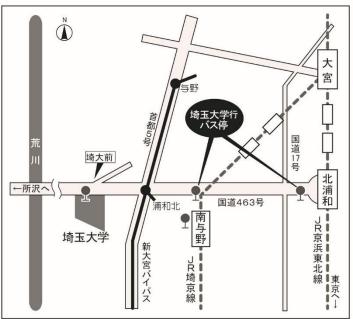
埼玉大学先端産業国際ラボラトリー 担当: 久保田・石田 TEL,048-714-2038

先端産業国際ラボラトリー ふりがな 貴社名 ふりがな 所属 氏名 役職 申込者 1 TEL FAX E-mail ふりがな 所属 氏名 役職 申込者 2 TEL FAX E-mail

埼玉大学への交通案内

- 東京駅 **→** JR京浜東北線 (快速35分) 北浦和駅西口
 - → バス (埼玉大学行き 約15分・3.5km)
- 新宿駅 → JR埼京線 (34分) 南与野駅
 - → バス(埼玉大学行き 約10分・約2.2km)

※交通事情により到着時間に遅れが生じる場合があります。ご了承ください。



なるべくバス・タクシー等公共交通機関をご利用ください。

